

100%自前の苗で三重工場が第2期植樹活動を実施

横浜ゴム（株）（社長:南雲忠信）は2009年6月13日（土）、三重県伊勢市にある三重工場で「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの第2期植樹活動を実施した。横浜ゴム従業員とその家族など500名が参加し、スダジイ、タブノキ、アラカシなど42種類、およそ3,800本を植樹した。

「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトは宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）の指導の下、“自前の杜づくり”を目指している。そのため、どんぐりの採取から苗木の育成、植樹までの一連の作業を横浜ゴム従業員が中心となって行っている。三重工場では昨年5月に第1期として5,500本を植樹したが、その後も継続して土地本来の樹種のどんぐりを採取し、苗木づくりを続けてきた。その結果、今回の第2期では植えた3,800本すべてを自前の苗木で行うことができた。ただ木を植えるのではなく、自分たちの手でゼロから苗木を育て森をつくる活動は、地球温暖化防止はもちろん、横浜ゴム従業員をはじめ、植樹にご協力いただいた地域の皆さまの環境意識の向上も目的としている。

「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトは地球温暖化防止を目的に、創立100周年を迎える2017年までに国内7生産拠点、海外11生産拠点に約50万本の苗木を植えるプロジェクト。国内は全生産拠点で第1期植樹を完了し、順次第2期植樹を開始している。海外はヨコハマタイヤ・フィリピンINC.、杭州横浜輪胎有限公司、ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング（タイ）、ヨコハマタイヤコーポレーション（北米）の4拠点で植樹を完了。現在までに国内外あわせて約100,000本を植樹した。今年9月にはタイのヨコハमारバー（タイランド）カンパニー LTD. で植樹を行う予定。



植樹の様子



参加者全員による集合写真



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「EcoMOTION」と名付けています。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株） 広報部

TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ

〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-5400-4570